



ブリ類養殖振興勉強会

(2017年2月23日)

黒瀬水産におけるブリ生産と輸出取組の現状

— 今後の課題と方向性 —

黒瀬水産株式会社 原 隆

1. 黒瀬水産(株)事業紹介
2. 現状把握(生産・輸出)
3. 黒瀬水産(株)の取組み
4. 課題 -ブリ類養殖を輸出産業として発展させるために-



1. 黒瀬水産(株)事業紹介



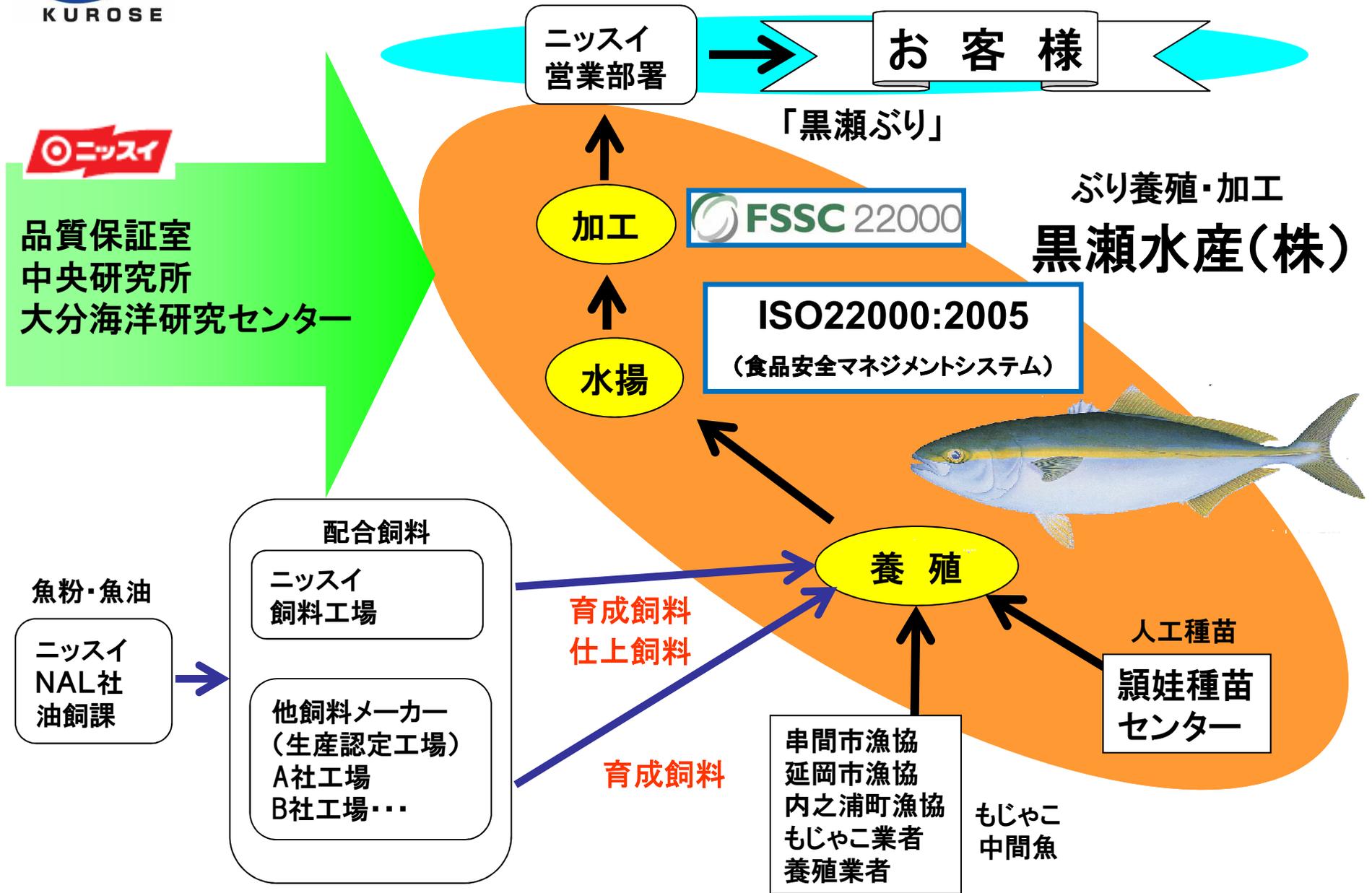


- 設立： 2004年1月8日
- 資本金： 498百万円
- 従業員： 185名(2017年2月1日)
- 出荷規模： 約150万尾/年(2015年度)
： 輸出 約7.2万尾(2016年)
- 業務内容： ブリ養殖 ブリ加工





黒瀬水産(株)事業構造





主な生鮮商品(ぶり)



ラウンド



ドレス(頭、内臓除去)



ロイン(不定貫、定貫)



フィレー(三枚おろし)



黒瀬漁場(宮崎県)



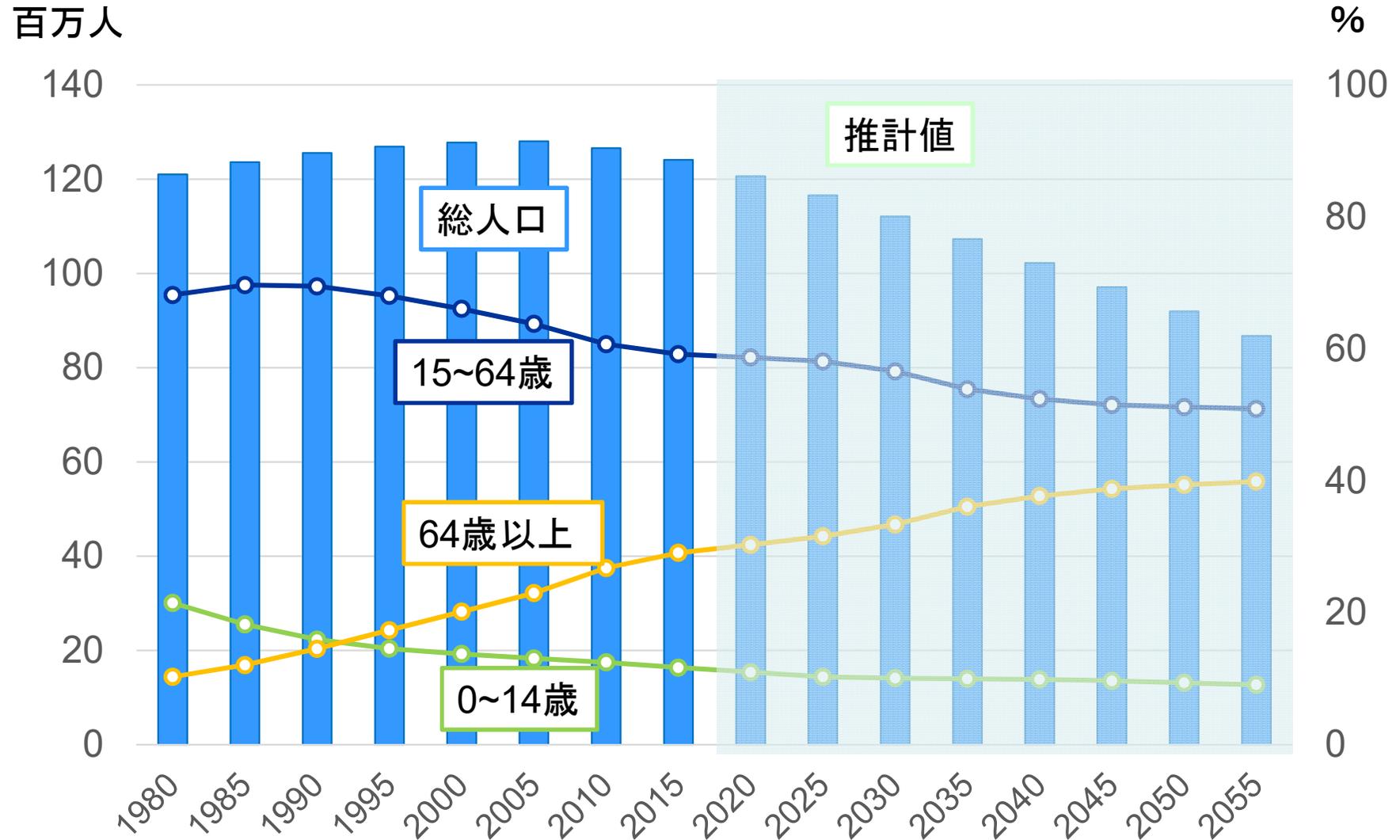


2. 現状把握(生産・輸出)



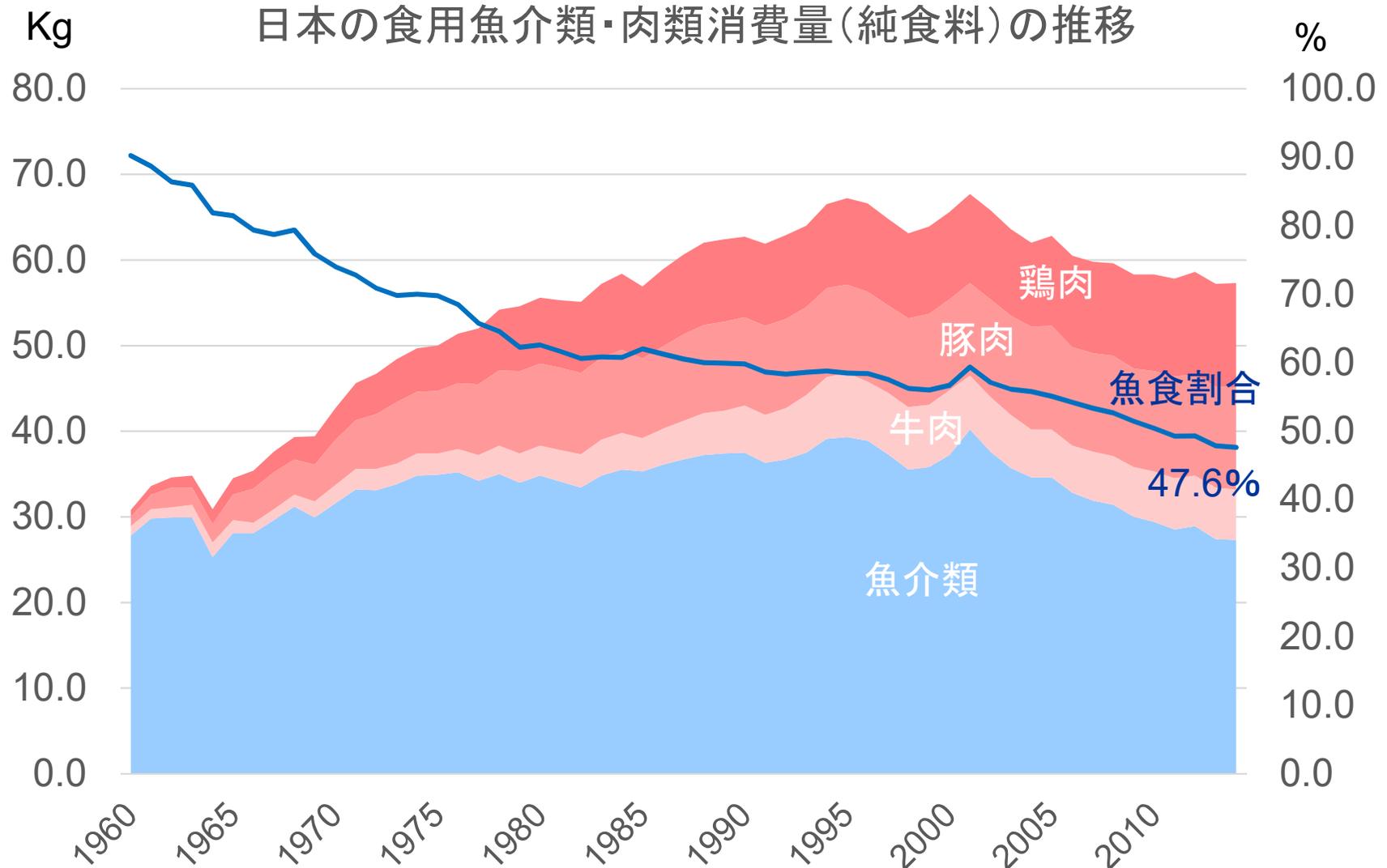


国内外の市場動向 (日本の人口推移)



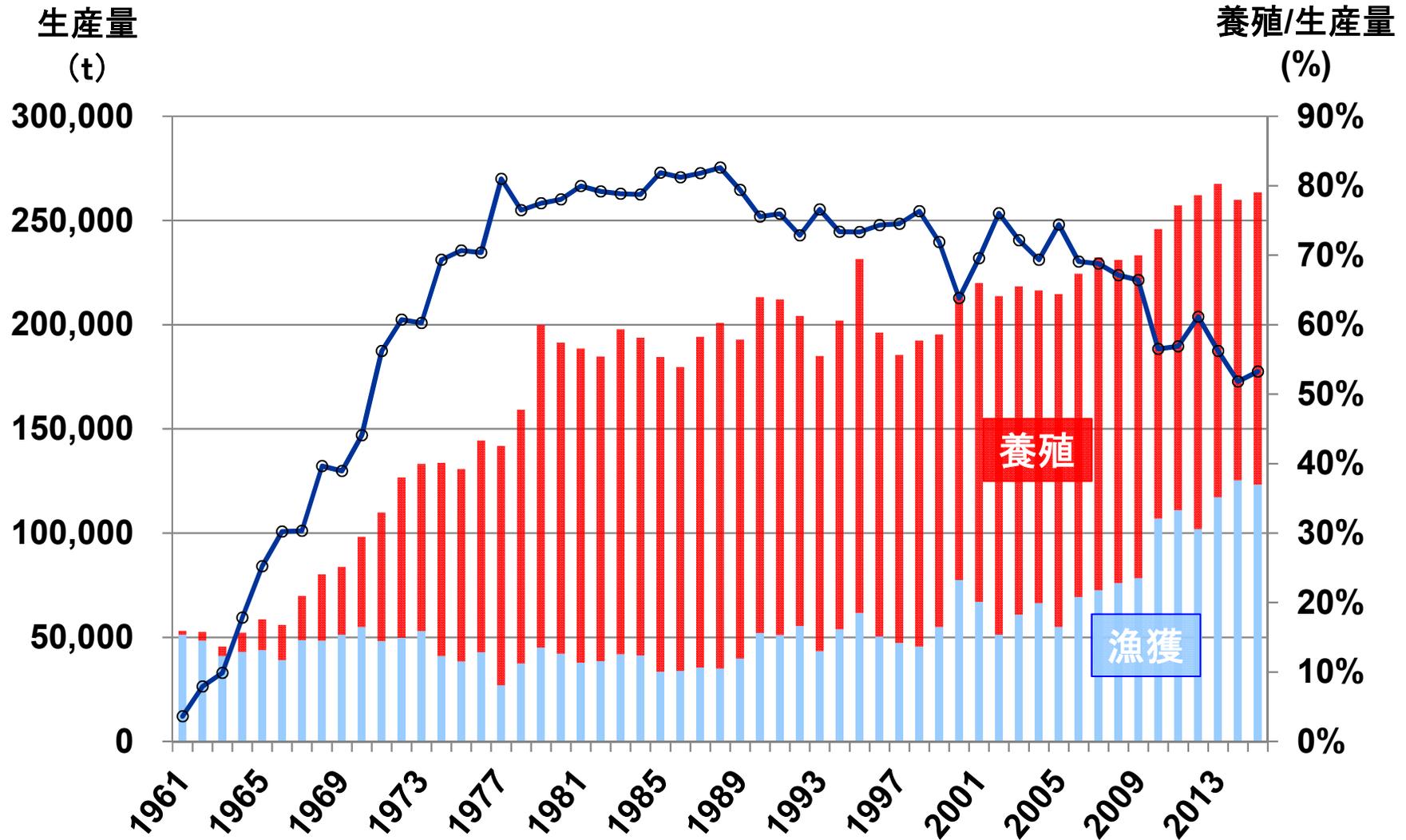


国内外の市場動向 (日本の水産物需要)



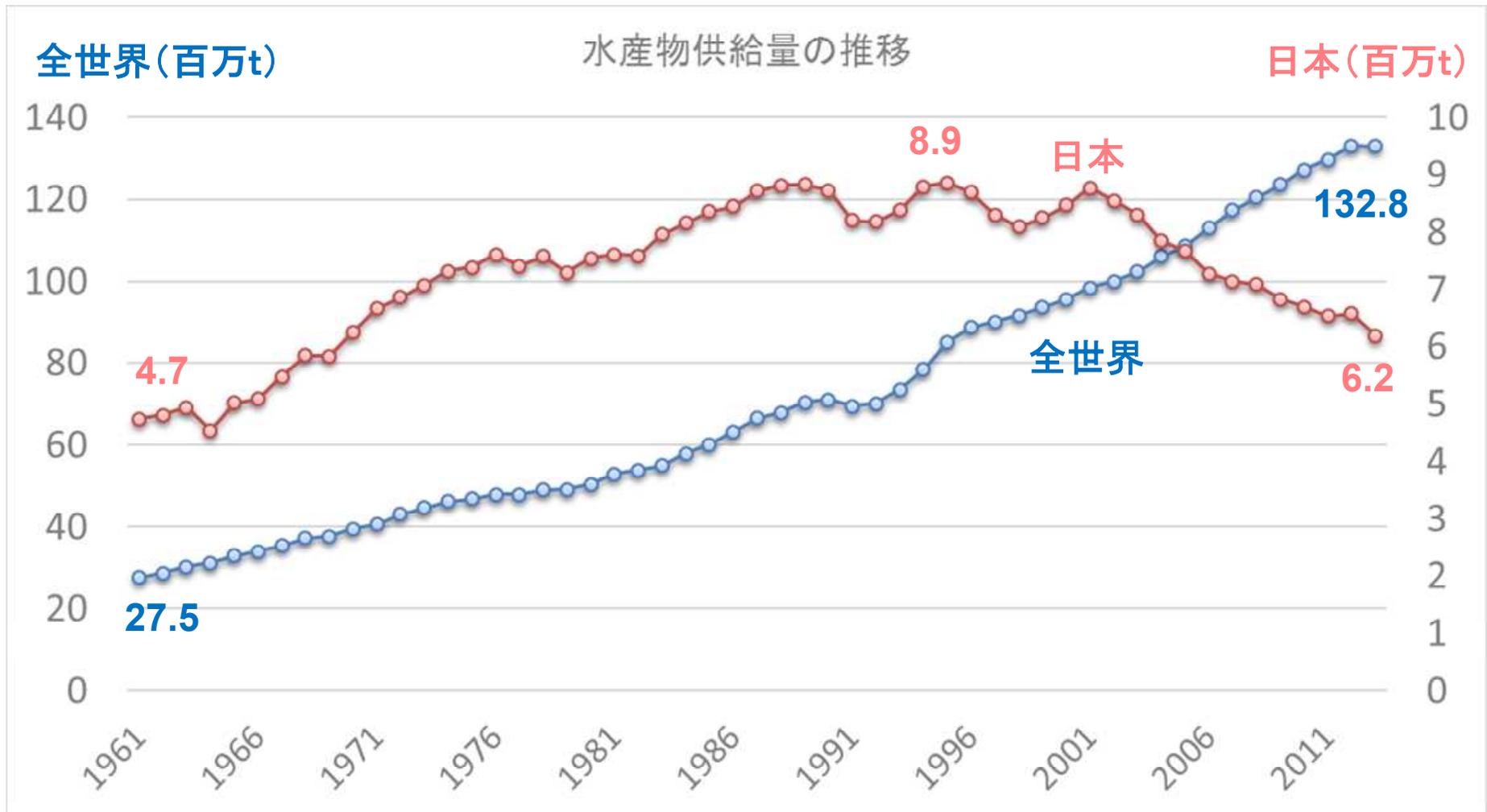


国内外の市場動向 (日本のブリ生産量)



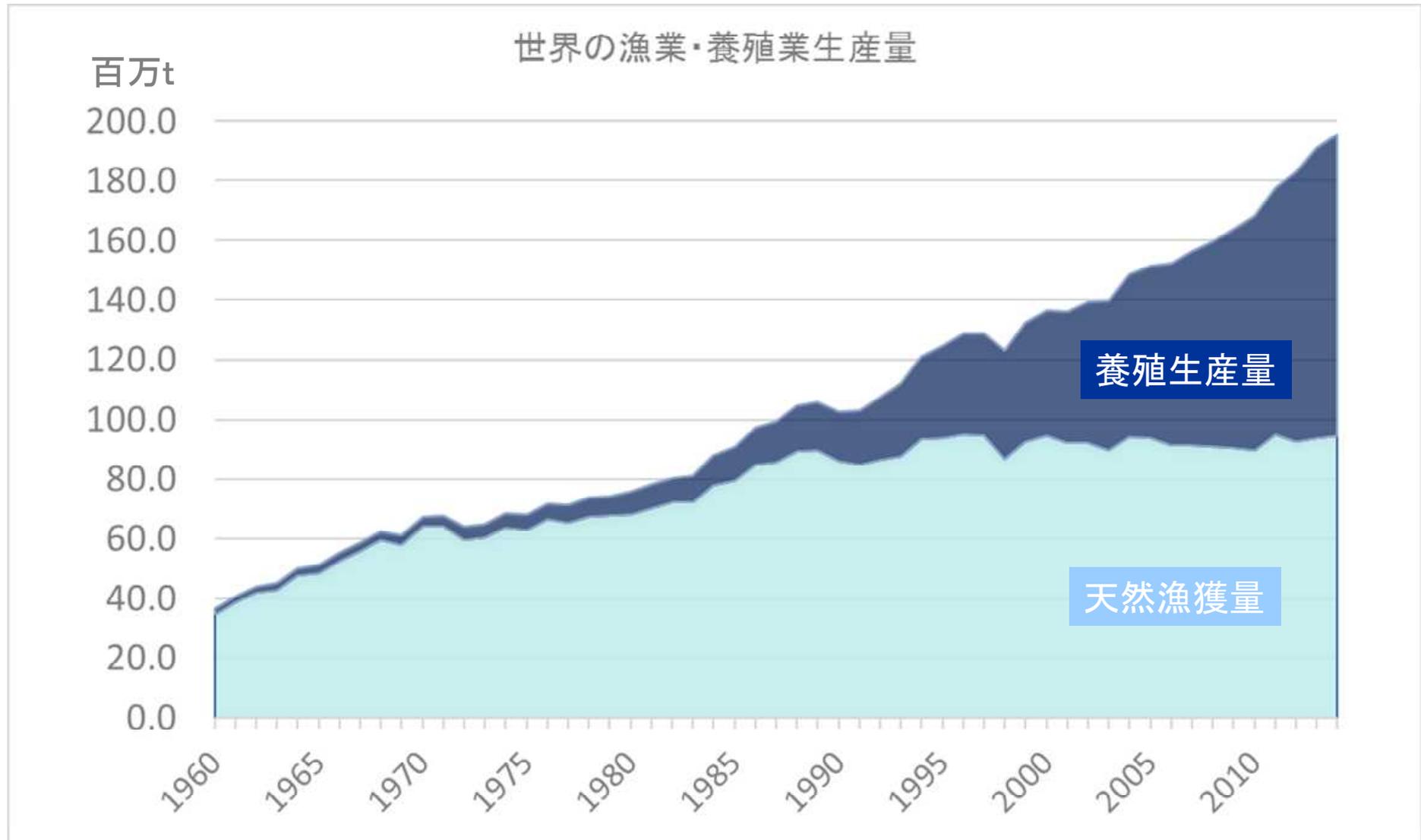


国内外の市場動向 (世界の水産物需要 長期推移)



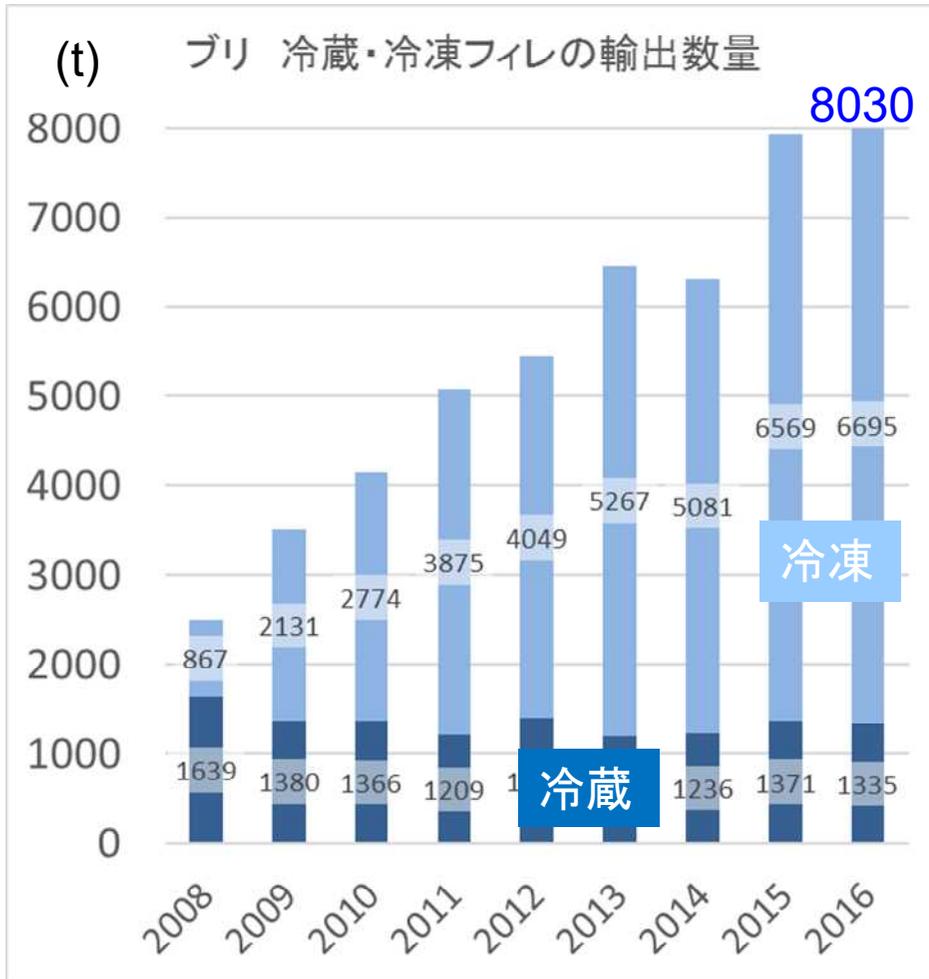


国内外の市場動向 (世界の水産物需要 生産量推移)





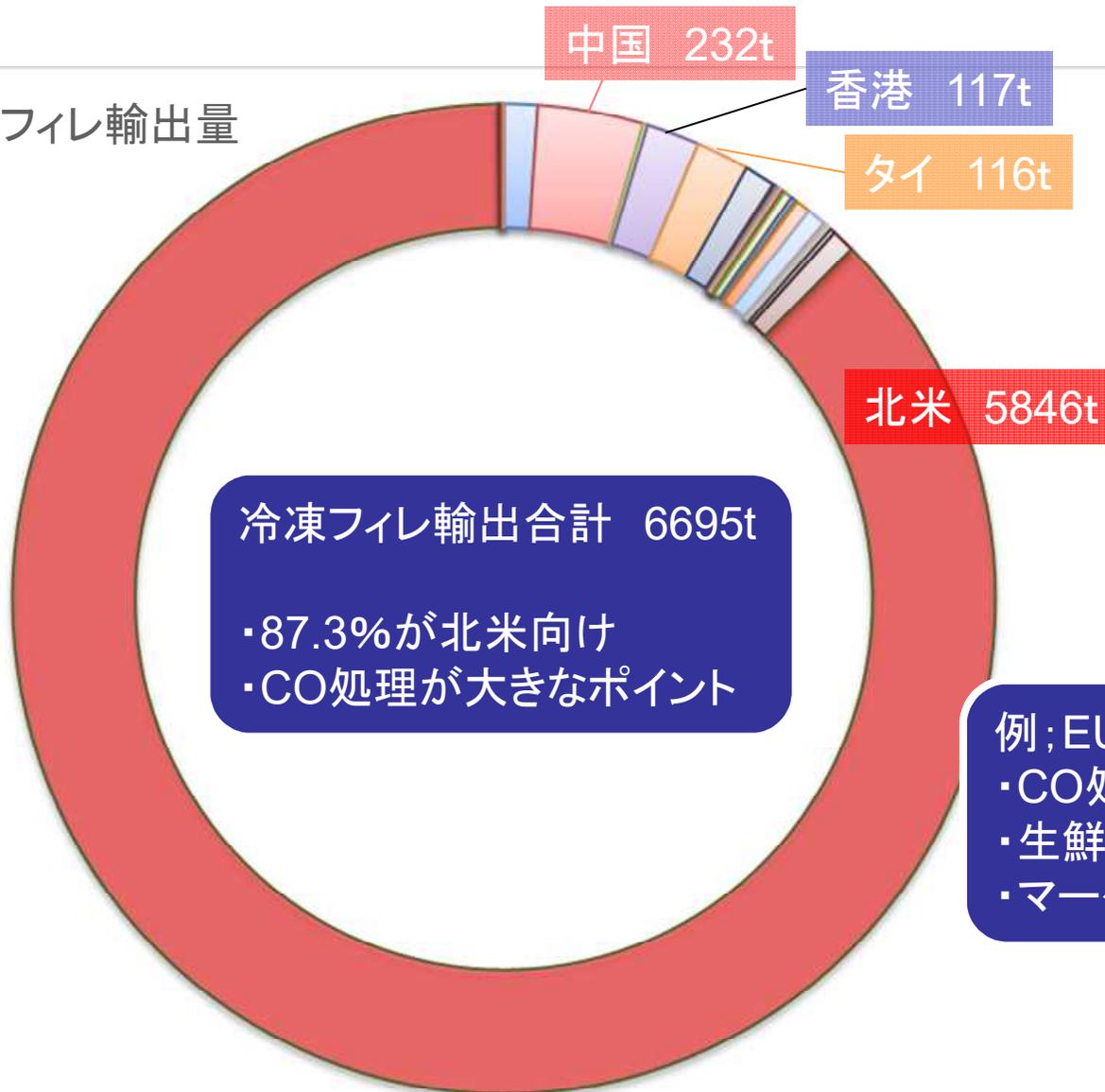
ブリの輸出状況 輸出数量・輸出額





ブリの輸出状況 輸出先(フィレ)

国別冷凍フィレ輸出量



冷凍フィレ輸出合計 6695t

- ・87.3%が北米向け
- ・CO処理が大きなポイント

- 例; EUでの生鮮フィレ販売
- ・CO処理禁止
 - ・生鮮フィレは高級食材
 - ・マーケットは限定的



ブリの輸出で求められる認証

ロンドンオリンピックの持続可能な認証制度(食品に求められる)

① Red Tractor Assured

イギリス農民組合が運営する国産農産物の栽培・飼養から流通・加工・包装、販売までの一連の過程を高い管理規準で保証する表示制度で、食品の安全だけではなく、農村景観を含めた環境保全やアニマルウェルフェアなどに関する高い管理規準を満たしていることを保証するシステムです。

② LEAF Marque certified

オーガニックに近い高いレベルの農場認証規準で、イギリスの最高級の食品スーパーといわれているウエイトローズはLEAF(Linking Environment and Farming)を採用しています。LEAF は認証専門の団体が運営する国際的な農場認証制度です。

③ GLOBALG.A.P.認証または同等基準の認証

EU の小売業界が始めたGAP 農場認証制度で、環境保全を柱とする持続可能な農業管理に、更に食品取扱いの衛生基準(HACCP の考え方)を加えた認証制度です。

④ MSC 認証

MSC(Marine Stewardship Council:海洋管理協議会)では、海の自然や資源を守って獲られた持続可能な水産物(シーフード)を認証し、エコラベルをつける取り組みをしています。

⑤ ASC 認証

ASC(Aquaculture Stewardship Council:水産養殖管理協議会)が、養殖による水産物を、持続可能な水産物(シーフード)として認証する養殖版「海のエコラベル」の認証制度です。



ブリの輸出で求められる認証

ブリュッセルシーフードショー(2015年4月)





3. 黒瀬水産の取組み





輸出促進への対応

加工場の管理レベル向上

(Food Safety System Certification22000*)

黒瀬水産株式会社
代表取締役社長 山瀬 茂継 様

2016年2月25日

一般財団法人 日本科学技術連盟
ISO 審査登録センター
担当理事・上級経営管理者
小野寺 将人



FSSC22000

登録承認通知書

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は当連盟 ISO 審査登録センターに受審賜り厚くお礼申し上げます。

さて、貴組織食品部の FSSC22000 につきまして、慎重かつ厳正なる第三者審査を行いましたところ、当センター審査登録判定会議にて

適用規格に適合

しているとの判定を得ました。

つきましては、別紙の通り登録手続、登録証の発行並びに今後の登録維持等の手続を行いますので、恐縮ながらご手配お願い申し上げます。

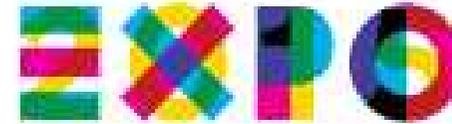
敬具

* 食品安全認証財団(The Foundation of Food Safety Certification)が
ISO22000と英国規格協会のPAS220を組み合わせで開発したスキーム。



輸出促進への対応

販売の取組み EU



MILANO
NUTRIRE IL PIANETA
ENERGIA PER LA VITA



10 TRADE SHOWS
IN ONE
TASTE THE FUTURE
COLOGNE 10. – 14.10.2015





輸出促進への対応

販売の取組み 中国





輸出促進への対応

九州経済連合会 行政・組織

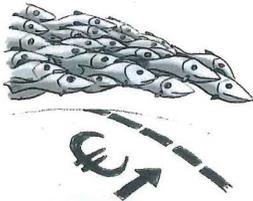
NORWEGIAN SEAFOOD COUNCIL



ノルウェー水産物審議会

2016年予算:59百万 米ドル
人員 :70名

Market Insight



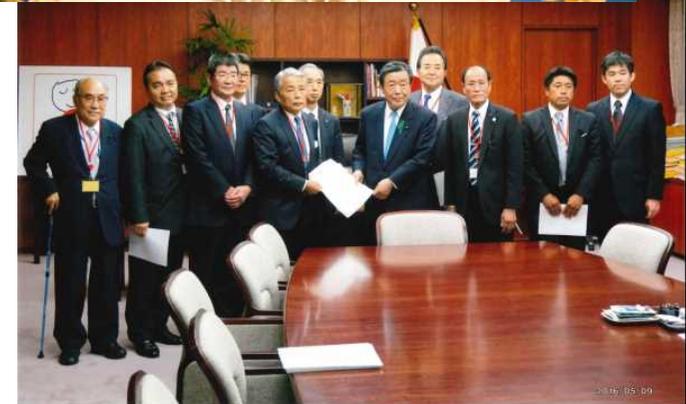
Marketing



Communication and risk management (PR)



Norges sjømatråd
Seafood.no





輸出促進への対応

九州経済連合会 販売の取組み

香港 寿司売場は日本のスーパーと変わらない。
ただし、サーモンが多く、全体的にオレンジ色。



Dairy Farm

ThreeSixty®

Jasons
FOOD ALIVING

OLIVER'S
THE DELICATESSEN

MARKET PLACE
by HARMON

惠康 wellcome



輸出促進への対応

加工技術(冷凍フィレ) 鹿児島大学他共同研究

輸送コスト削減(空輸→冷凍コンテナ)

利便性向上(保存性)

CO処理に代わる褐変抑制技術構築(北米以外)

→世界のどこにでも輸出が可能となり輸出量拡大

養殖ブリの輸出を促進するための
人工種苗生産技術高度化及び
高品質冷凍流通技術体系の開発
(農研機構生研支援センター)



輸出促進への対応

加工技術(冷凍フィレ) 鹿児島大学他共同研究

①電気刺激水揚げ・活きメシステム開発

②全自動高速魚体処理システム開発

③高濃度ATP含有冷凍品の生産条件と品質の検証

④解凍肉の褐変抑制技術開発

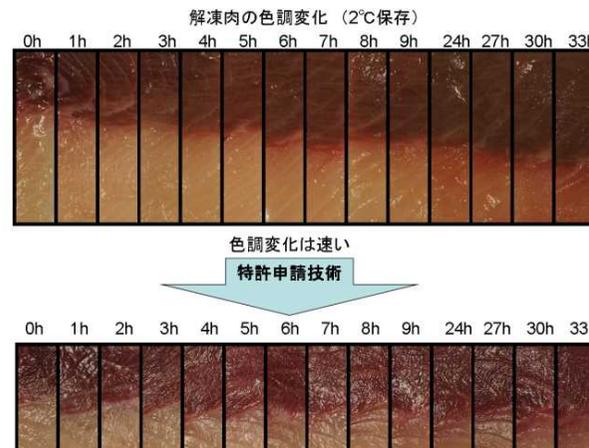
②高速魚体処理機の開発
(処理能力 1500尾/時)



高速ヘッドカット
内臓除去機
開発



ヘッドカットと
内臓・腎臓除去



養殖ブリの輸出を促進するための
人工種苗生産技術高度化及び
高品質冷凍流通技術体系の開発
(農研機構生研支援センター)



輸出促進への対応

・ASC 認証 ブリ類での取り組みに参加

The screenshot shows the WWF Japan website with a navigation bar at the top. The main content area features a headline "新たな認証基準が完成" (New certification standards completed) and a sub-headline "2015年2月12日、ASC (水産養殖管理協議会) は、ブリ・スギ類の認証基準が、「ブリ・スギ類水産養殖管理検討会 (円卓会議)」での策定作業を終えて、ASCに移管されることを発表しました。" (On February 12, 2015, ASC (Aquaculture Stewardship Council) announced that the certification standards for sea bream and sea bream-like species, which were finalized by the Roundtable Discussion on Sea Bream and Sea Bream-like Species Aquaculture Management, have been transferred to ASC). To the right of the text is a photograph of a sea bream fish. Below the main text, there are sections for "この記事のカテゴリ" (Categories of this article), "関連情報" (Related information), and a sidebar with a tiger image and text about ASC certification and environmental protection.

WWF Japan

法人の皆さまへ | よくあるご質問 | お問い合わせ

WWFについて | WWFの活動 | あなたができること

寄付・入会のお願い

新たな認証基準が完成

2015年2月12日、ASC (水産養殖管理協議会) は、ブリ・スギ類の認証基準が、「ブリ・スギ類水産養殖管理検討会 (円卓会議)」での策定作業を終えて、ASCに移管されることを発表しました。

ASC認証は、持続可能な養殖業を第三者の立場から証明するものです。すでに、ASCでは認証の対象としている、ティラピア、パンカシウス、サケ、エビ、マス、ニ枚貝、アワビの基準を策定、管理してきましたが、今回はこれに、ブリ・スギ類が加わることになりました。



ブリ

世界の養殖産業は、年々拡大傾向にあります。その一方で養殖による自然環境と社会への負荷が懸念されています。例えば、飼料や薬剤の過剰な利用による養殖場周辺の水質悪化や、天然資源に頼ったエサの過剰な利用といった、環境や生物多様性への悪影響。さらに、貧困問題にもつながる、労働環境や地域社会に及ぶ課題です。

そのため、WWFは、養殖による影響を最小限にするため解決策の一つとして、ASC認証制度の設立と普及に取り組んできました。

今回、ブリ・スギ類のASC認証基準が完成したことは、その取り組みが大きく前進したことの証であり、同時に養殖ブリの生産で世界をリードする日本にとっても、大きな意義があるものです。

この記事のカテゴリ

ASCについて

関連情報

ASC認証取得に関心のある生産者の方へ

ASC認証

物の取り扱いに

業の方へ

カレンダープレゼント中

トラが生きる自然を守りたい

詳細はこちら

の方へ

<http://www.wwf.or.jp/activities/2015/02/1248513.html>



4. 課題

-ブリ類養殖を輸出産業として発展させるために-

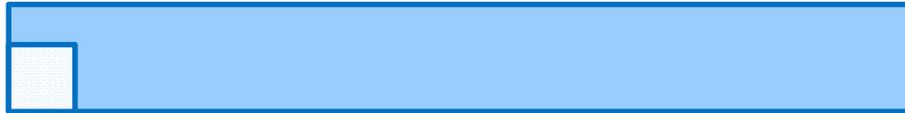




今後の課題

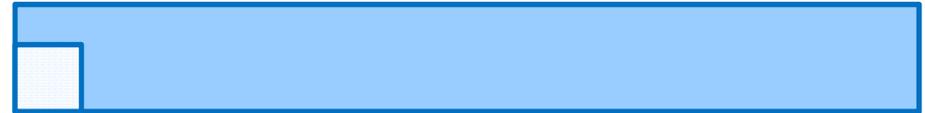
ブリ養殖を輸出産業として発展させるために

生産コストの低減



- 育種(成長・抗病性)
- 漁場管理
(環境・魚病・地域社会)
- 効率化(機械化・IT導入)

販売促進



- 日本版NSC
- 輸出手続き(簡素化)



ご清聴有難うございました。

